

下流域地下水への影響について

○静岡市の解析結果(地下水位の低下量分布)

※静岡市が実施した解析結果においても、地下水位の低下が見られるのは断層沿いなどに限られています。

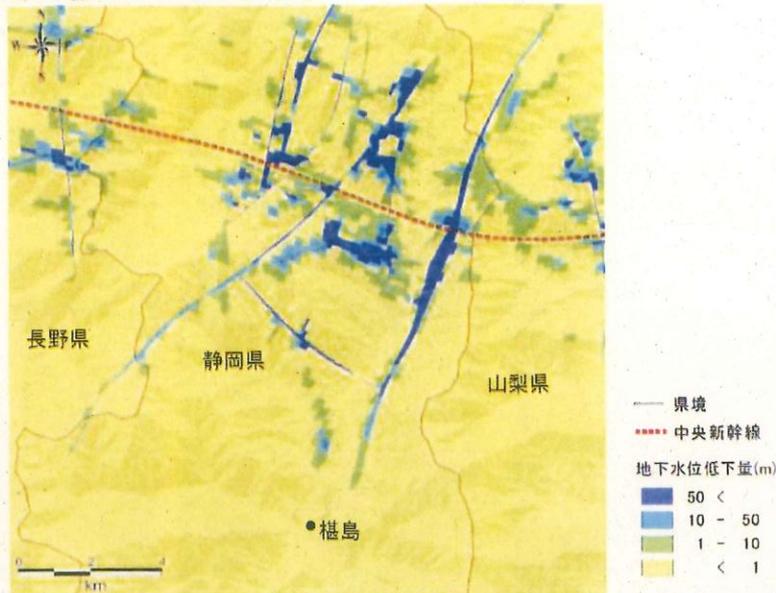


図10 地下水位の低下量分布(低水期:導水路トンネルまで掘削)

(本坑トンネル、導水路トンネル付近のみの拡大図。現況との差を示す。断層沿いに地下水位の低下が生じている。)

※「平成28年度南アルプス環境調査結果報告書VI水資源調査」(静岡市、平成29年3月)図10に一部加筆 59

まとめ

- ・本日の会議では、質問書で意見交換が重要とあった【地質構造・水資源編】「総論」、「水資源の影響予測の検証」の質問1～10の回答と、「水質の保全」と「下流域地下水への影響」について、ご説明致しました。
- ・これらについては、昨年11月の静岡県中央新幹線環境保全連絡会議でご説明しましたが、その説明を受けての更なるご質問への回答を本日より分かりやすい形でご説明致しました。
- ・大井川利水関係協議会の皆様のご心配を受け止め、まずはトンネル湧水の全量を大井川に流す措置を実施してまいります。また、本日ご説明したとおり水資源に与える影響の予測には不確実性があるため、工事を進めて行く中で、河川流量や湧水量などを把握しながら進めてまいります。
- ・できる限り早くトンネル掘削工事に着手できるよう静岡県と協議していきたいと考えております。